

(進行：委員長)

事務局	<p>5 協議事項</p> <p>(1) 令和2年度保育所運営費の概要について (資料No.1)</p> <p>令和2年度保育所運営費の予算 支出総額：7億2,414万6千円 収入総額：1億6,974万2千円 差引額=町負担分 5億5,440万4千円 (支出について)</p> <ul style="list-style-type: none">・報酬、給料、職員手当等、共済費、賃金、旅費等職員に係る経費については、西保育園の増改築工事により新たに保育棟を建築し、新たに1歳児及び2歳児を受け入れるために会計年度任用職員を採用したこと、保育士の臨時職員が会計年度任用職員という一般職の地方公務員として身分が定められたことに伴い期末手当の支給が始まることにより、例年と比べ職員に係る経費を増額計上している。・役務費について主なものとして、保育士の人材確保を目的に、人材紹介を利用してした保育士採用を予定しており、採用となった場合には推定年収に紹介手数料を乗じた手数料を支払うために計上している。・使用料及び賃借料は、西保育園の増改築工事に伴い新たに保育棟が建築されたことにより、保護者の方の新たな駐車場スペースを確保するため、伊大建設南側駐車場を借用したことによる賃借料を新たに計上している。・委託料及び負担金の主なものとしては、大口中保育園の人件費や運営に係る事業費や管理費を支払うための民間保育所運営費及び民間保育所補助金、新たなものとして各保育園の清掃業務委託料が計上されている。 <p>(収入について)</p> <ul style="list-style-type: none">・主なものとして幼児教育無償化や大口中保育園に係る経費の補助等国・県からの歳入が72,775千円、保護者の皆様にお支払いいただいている保育料が67,095千円、延長保育を利用される方や支払う延長保育料や年少児以上の方にお支払いいただく副食代等が29,872千円となっている。・一人あたりの費用額は、令和2年4月1日現在の園児数を基に年間利用延べ人数をだし、支出総額を延べ人数で割ったものである。1人当たり93,559円となり、そのうち町負担分が71,628円で全体の76.5%占めている。また、保護者の皆様にお支払いいただいている保育料が8,669円で全体の9.3%となっている。幼児教育保育無償化に伴い、保護者の皆様の負担が減り、町負担が増えた傾向がでている。 <p>保育園整備費の概要</p>
-----	--

保育長

支出総額：1,962万7千円 収入総額：300万円

差引額＝町負担分 1,662万7千円

- ・支出額の主なものとして、西保育園北側駐車場のスペースを確保するための整備や園庭に以前あった築山を作るといった西保育園増改築工事費（2期）や園庭の芝生化をするための西保育園園庭整備工事費等がある。
- ・収入額の主なものとして、あいち森と緑づくり都市緑化事業交付金事業（県民参加緑づくり）300万円があり、公共施設の緑化を推進するために園庭の芝生化事業を実施することとなり、6月20日（土）に延べ132人の方にご参加いただき、芝生の苗を手植えしていただいた。今後、これを機として、地域の方とともに維持管理や交流を深めていきたいと考えている。

（2）新型コロナウイルス感染症に伴う対応について

（資料No.2-1・2-2）

保育園では、これまでも国・県の指導に従って新型コロナウイルス感染症予防対策を実践してきた。

具体的には、職員や園児の健康チェックや、手洗い・消毒の徹底、机や玩具の除菌、保育室の換気、園児同士の間を取るように床にしるしをつけたり、水道を一つ置きしたり、給食やお昼寝の時は距離が近くなるように立ってをたてるなど、各保育園がそれぞれ工夫しながら感染予防対策を行っている。参考資料として、No.2-2は感染予防対応策の主な内容をまとめたものです。手の消毒は、アルコールを使っている。物品に対しては、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを使用している。

保育園では、小さなお子様をお預かりしているので、新型コロナウイルス感染以前より、常日頃から、衛生面には非常に細かな対応をしている。少し回数は増えたが、保育園の消毒は保育士だけでなく、看護師、事務員、調理員等が協力して行っている。保育中にもテーブルを始め、イス・ドアノブ・扉・水道レバーなど保育室で園児が接触する所は消毒を行っている。玩具については、おもちゃ殺菌保管庫を使用している保育園もある。（紫外線、遠赤外線、熱風で、殺菌と乾燥をするもの⇒議会で予算を認めていただきながら、購入の手続きを始めている。）

保育室を衛生的にすることは、もともときめ細かに行っていたので、新たな消毒作業の負担というより、大事なお子さんを感染症から守る、感染者を出さないという精神的な負荷が大きいと思っている。

そんな中でも保育園の職員は頑張っている。昨日も看護師がほけんだよりを作成しました。一部紹介をさせていただく。《みんなで守ろう！3つのお約束》、あとから説明のある子育て3か条に合わせながら、小さな子どもたちで

	<p>も、新型コロナウイルスの感染予防に、意識的に気を付けられるように、作成されたものである。小さな子どもたちでも、できることから取り組んでいきたい。保護者の皆様にも引き続き、ご協力とご理解をよろしくお願い致したい。</p>
議会議員代表	<p>オムツの対応について教えていただきたい。</p>
北保育園園長	<p>一人一人オムツケースがある。ケースには袋がセットしてあり、オムツを換えた後 使用後のオムツはオムツケースに入れる。便の場合は、オムツをビニール袋に入れしっかりと密封した状態でオムツケースに入れます。感染のないように気を付けている。 オムツケースはトイレにおいてある。</p>
議会議員代表	<p>オムツは持ち帰っているのか。</p>
保育長	<p>各家庭に持ち帰っている。</p>
議会議員代表	<p>衛生面に気を使っていることが伺える。どのようにしているのか知りたかった。</p>
議会議員代表	<p>消毒の話が出たが、机や玩具の消毒など現場は大変なのではないか。 先ほど予算の中で、清掃などの委託業務とあったが、現実的にどうなのか。 保育士の時間的な、人力的な問題はどうか。現状はどうか。</p>
保育長	<p>保育士の仕事は大変というイメージはある。人材紹介の話も出たが、人手不足の世の中になっている。保育士の負担軽減、また、保育士は保育に力を注いでいきたい。保育の仕事以外は、事務員さんをお願いする、清掃は委託をしていくとか、役割分担をするようにと予算計上させていただいている。4月から進める予定であったが、新型コロナウイルス感染症の関係で委託の方も人の動きも少ない。保育士についても自粛の関係で園児の登園人数がぐっと減ったことで、今いる保育士で消毒等十分にできている状態なので、今は清掃委託も見合わせているところである。これで子どもたちも揃ってくるので早速委託業者に相談にしながら、トイレ掃除等していただけるように調整しているところである。</p>
議会議員代表	<p>コロナウイルスで学校が休業になっていた。学校が再開したことで学校へ行きたくないというコロナへの恐怖心を持った児童がいる。保育園でも同じよ</p>

	うなことがあるのではないかと、父兄の皆さんの中にも心配されている人もいるのではないかと。
南保育園園長	母親が新型コロナウイルス感染症を心配されて、家での仕事に切り替えてお子さんの登園を控えている方もいる。夏になればもう少し収束してるのではないかと頃合いをみて登園させようと考えているようだ。
議会議員代表	そうなった場合、保育料とか給食費とかは町の方ではどう考えているのか。
福祉子ども課長	保育料については、事情は考慮するも園としては開いているので、その分はいただく。副食代については、条件付きで無料になる場合がある。
民生委員・ 児童委員代表	外部に掃除を委託するという話が出たが、コロナの関係でシーツとかの清掃業務の関係者は、病院関係等からの仕事を嫌がっている業者もあると聞くが、その辺りはどうなのか。
福祉子ども課長	シルバーへの委託を考えている。 保育士の負担軽減という形である。7月を目途にやれるかという協議に入っていく。
民生委員・ 児童委員代表	小学生は、1日中マスクをしている。家に帰ってくる頃にはマスクがべたべたになっていて、かえって不衛生なのではないかと思うのですが、保育園ではどうですか。またマスクをつけての保育は、保育士の表情が子どもたちに見えない中でどうしているのか。
北保育園園長	自粛があった当初は 年長児では殆どつけている状態だった。今は暑さのこともあって マスク着用は少なくなっている。遊んだりすると暑くなってくるので 替えのマスクを持ってきている子もいる。 保育士のマスク着用で表情がわかりづらいことは、保育士も気になっている。目元で表情を伝えるということも言われているので、自分たちで意識している。マスクをつけながらも愛着関係ができるように抱っこをしたり、手をつないだり、体を触れ合ったりしながら保育士との関係を作っていくようにしている。
保育長	(3)「令和2年度保育所運営について」 ・園児数の説明(資料No.3)

昨年度と大きく違っているところは、昨年まで待機児童が発生していたが、西保育園の未満児保育棟を増設できたことにより、西保育園の未満児の定員が60名から75名増え、135名となり、西保育園定員を190名から265名に変更し、大口町保育園の総定員が715名から、790名になったところである。

令和2年度6月1日の園児数は、定員790名のところ、659名の在籍。

南保育園 122名で 8クラス

西保育園 194名で 11クラス

北保育園 188名で 9クラス

大口中保育園 155名で 9クラス

6月の入所以降、お誕生日を迎えての入所、育児休業明けで仕事復帰される方のお子さんの途中入所児等、現段階で31名の入所予定児がいる。合わせますと、現在で年度内690名ほどの園児数になる予定です。

また、今後、毎月の入園審査会を経て、保育の必要性が認定されたお子様については、入所案内させていただく。

職員数については、どの保育園も配置基準に適した人数でお子様の保育を行っている。

保育園は、クラス担任保育士の他に、加配保育士・週休・休憩対応などの保育士の他、調理員、管理栄養士、看護師、事務員も必要に応じて配置されており、大勢の専門職員で大事なお子様をお預かりしている。

(途中入所児を含む配置となっている。)

・年間計画について

保育園の行事については、園児の安全な保育を第一に新型コロナウイルスの感染予防を念頭に入れて行事を進めていきたいと考えている。

特に3密が予想される行事については、3密を避ける方法を検討し行事の形態や開催時期・開催時間等の変更を行いながら極力実施していきたいと考えている。

小学校の考えを参考に、また新型コロナウイルス感染の状況をみながら、判断をさせていただく。

行事の発表ではなく、保育の一環で行い、できるだけ保護者の皆様には、お子さんの成長発達の様子を見ていただきたいと考えていますが、どうしても3密を避けることが出来ない行事については、園児の安全確保のため中止しなければならないと考えている。

・年間計画表について (資料No.4-1)

入園進級式に配布した年間計画表である。現段階での、変更予定の箇所を説明させていただきます。

- ・ 6月音楽会中止 → 9月の保育参観内で、楽器遊びの様子をみていただく予定にしている。

全園児引き渡し訓練は、密を避け、例年のような一斉お迎え方式ではなく、保護者の仕事時間に応じたお迎え時間で訓練をおこなっている。

- ・ 7月から8月のプール遊びは、水遊びに変更する。
- ・ 9月保育参観は、参観日の日数を多く設定して、密を避けるように行っていきたいと考えている。年少試食会につきましては、9月に行わない。
- ・ 運動会 → 保育参観を実施し、運動遊びの様子をみていただく予定。
→ 年次ごとに分けて行うことを考えている。

- ・ 町民体育祭は、実施されない。

- ・ 内科歯科検診については、5月から6月にかけて行う1回目の健診が、遅れている。現在、各保育園で園医さんと調整しながら進めている。後半時期もずれてくる。

- ・ 12月 生活発表会 → 12/5（土）保育参観として、お話ごっこの様子を見ていただく予定です。（参観は保護者のみ）

- ・ 2月 年長バス遠足

岐阜県淡水魚水族館アクア・トトぎふへ出かけることは、中止で考えている。理由としては、一般来館者も多数おり、感染リスクを考えたため。町立保育園については、タイム技研さんにお世話になっている21世紀創造の森への遠足は、経験させてあげたいと考えている。10月27日（火）は

- ・ バス台数を倍に増やし、間隔をあけて乗車する
 - ・ 戸外活動で、感染リスクは低いと考えられる。弁当もおにぎりのみ。
 - ・ しかしながら、保育園だけで決められず、タイム技研さんとの合意で進むこと。思いは伝えてあるが、決定ではありませんので、ご理解をお願いします。
- ・ 2月の保育参観については、9月と同様、日数を多く設定して、密を避けるように行っていきたいと考えている。

○その他、祖父母交流や地域交流について

- ・ 地域交流活動は、参加人数を調整しながら進める。
- ・ 祖父母交流については、未定である。

今後の状況、新型コロナウイルスは先が読めない状況である。今の段階での説明であり、変更もやむを得ないということをご理解いただきたい。

南保育園園長	<p>資料 No. 4 - 2 以降は、各保育園別の年間計画になっている。</p> <p>全園共通の「毎日行える子育て3か条について」（資料No.5） 保育園と幼稚園の先生で作成した 幼児用の大口町 子育て3か条で、学校用の子育て10か条をもとに作成したものである。「子どもに笑顔であいさつしましょう」「子どもの目を見て、会話をしましょう」「子どもをギュッと抱きしめてあげましょう」と書いてありますが、「笑顔であいさつ」「目をみて会話」「スキンシップ」を保育の基盤に加え、保育園も家庭も同じ思いで子育てに取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>・各保育園の取り組みについて 南保育園 （資料No.6-1）</p> <p>園の周りは田畑に囲まれ、四季折々の草花が咲くなど、自然環境にとっても恵まれている。保育目標「豊かな心と丈夫なからだでよく遊ぶ子ども」を基に、大勢の友達と集団で過ごす中で互いに育ち合える場として、また、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、様々な体験を通して豊かな心を育む保育をめざしている。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、手洗い、うがい、マスクの着用、十分な休息の取得などの感染予防対策を園だよりや掲示等で保護者の方々にもお願いしてる。園でも、子どもたちに手洗い、消毒の他、室内のこまめな換気、机や椅子、玩具の除菌の他、子ども同士が密集しないような机や午睡時の間隔を空ける、パーテーションで仕切るなど「新型コロナウイルス感染予防対応策」のマニュアルを作成して最大限の努力を重ねている。</p> <p>感染リスクを減らし、子どもたちの心身の発達や豊かな感性と表現を育む上でも、自然豊かな園庭及び周辺の木々や草花に触れたり、木々の葉や草花を集めてままごとやお店ごっこを楽しむなど自然物を利用して子ども自らが工夫して遊ぶことを大切にしていきたいと思っている。また、広い園庭を走ったり、ジャングルジム、登り棒、滑り台、八角塔、雲梯、鉄棒、リングハング、ブランコなど、沢山ある固定遊具で伸び伸び遊ぶ中で、年齢に応じた体と心の豊かさを育てていきたいと考えている。例えば、遊具を使って「登る」「滑り降りる」「ぶら下がる」「乗り越える」「揺れる」という様々な動きを経験する中で、バランス感覚が養われ、挑戦する心が育っていくと思われる。「一人でできた」という達成感、充実感を味わい、自信に繋げていきたい。危険だからと制限するのではなく、保育士が手本を見せ、正しい使い方や安全な遊び方を知らせていくことも大事にしていくと共に、年齢に応じて縄跳び、跳び箱など「少し頑張ればできる」と感じられるような挑戦したくなる遊びの環境を整</p>
--------	--

<p>南保育園 父母の会会長</p>	<p>えていきたいとも思っている。</p> <p>*南保育園の特色ある活動について*</p> <p>＜郷土を愛する心を育む活動＞</p> <p>大口町歴史民俗資料館の学芸員に、園周辺地域（大口町の南部地域）にまつわる話を聞いたり、映像や写真を見せてもらった後、実際に現地に行って話を聞いている。自分が住んでいる町を知ることができ、子ども達の郷土を愛する心を育む芽を大切にしている。</p> <p>＜地域交流＞</p> <p>園児の祖父母に限らず地域の方と一緒に遊びを楽しむなど地域の方との繋がりを深めている。また、年1回保育園が行っている避難訓練に参加して頂き、昨年度も地震、火災を想定して、地域の避難場所である南小学校まで一緒に避難して頂いた。地域の方に手伝って頂き、大変心強く、有難く感じた。今年度も地域の方の力をお借りし、最終避難場所である南小学校まで避難をお願いしたいと考えているが、コロナウイルス感染症の状況によっては実施の有無は分からないのが現状である。</p> <p>＜南食育サポートとの食育交流事業＞</p> <p>地域の方の畑をお借りし、南食育サポートの方に栽培の指導をして頂き、子どもたちは野菜を身近に観察し世話をしている。収穫できた野菜を給食の食材に取り入れ「食べる喜び」「人や物への感謝」の気持ちを育てていきたいと考えている。今年度は、玉ねぎやジャガイモの収穫、さつま芋の苗植えを行った。今後も、南食育サポートの皆さんにご指導頂きながら進めていければと思っている。</p> <p>＜絵本の読み聞かせ＞</p> <p>保護者有志の方で「読み聞かせボランティア友ちゃんズ」を結成し、月1回から2回ほど降園前の時間の読み聞かせをして頂いている。子どもたちは絵本の世界の楽しさに浸りながら言葉や想像力を育み、人の話をしっかり聞く力が身についている。今年度も感染症拡大防止の為、開始時期は未定だが、計画して頂いている。</p> <p>今年度は特に「新しい生活様式」を意識した中で安心・安全な保育、子どもの健やかな育ちを支える保育を継続するための取り組みを進めていきたいと思っている。</p> <p>南保育園 父母の会の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3回程度のお楽しみ会開催予定 ・ 保護者有志「友ちゃんズ」の読み聞かせを計画
------------------------	---

西保育園園長

・クリスマス会、卒園等のプレゼントを考えている

西保育園 (資料No.6-2)

町立西保育園は6月23日現在で、3歳未満児71名、3歳以上児125名、合計196名の子どもたちが生活している。6月から通常保育になり、賑やかな日常が戻ってきたところである。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に取りながら、送迎される保護者の皆様にもご理解、ご協力の中で過ごしている。

昨年度の丁度今頃から増改築工事が始まり、昨年度中に保育棟の工事は終了した。今年度4月からは未満児棟園舎での生活がスタートし、5月からは調理棟も稼働している。先週の土曜日、6月20日に地域の皆様と年長児親子の協力の下、園庭の芝生の植え付けが終わった。園庭に少しの緑が入ったことで、木造の木と芝生で、また園の雰囲気が変わったような気がする。今後は芝生が緑のじゅうたんのように育つことを待つばかりの状態である。

今年度も、3つの柱「木育、食育、体力作り」を主な取り組みとし、3歳未満児から5歳児の発達に応じたそれぞれの目標の中で、各年齢の保育を大切にしながらも、その中で異年齢児保育や行事、地域の方々や食育サポートの方々との交流を行っていきたいと考えている。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の関係で、内容や交流の方法も考えているところである。

・3歳未満児は、2歳児、1歳児とそれぞれ2クラスずつある。ゆったりとした家庭的な雰囲気の中で、一人一人と丁寧に心身の成長を促している。未満児棟の保育室前には広い木造の回廊がある。天気に影響されることなく、回廊を使って伸び伸びと遊ぶことができている。また、未満児棟にある多目的室をプレールームと名付け、広い室内に玩具を出してじっくりと遊びを楽しむようにしている。また木製の滑り台やマット、ボールプールなど、いろいろな遊具や用具を使って遊び場を作り、指先から手、足、体をしっかり使った遊びが展開できるようにしている。保育室内の環境設定の面では、引き続き講師の先生を園に招き保育士研修を行い、保育向上に努めている。

・3歳以上児は、園庭を囲む広く長い回廊を使って、体力作りをしたり給食を食べたりと回廊を活かした保育を展開している。木造ならではの、木のぬくもりや温かみの中で、変わりゆく季節を感じながら過ごしている。

園庭をはさんで向き合う3歳以上児と3歳未満児クラスがお互いの存在を意識し、思いやる心を育てていきたいと思っている。園の特色でもある体力作りは、広く長い回廊を使って、走ったり、集団遊びをしたり、また、運動器具や

<p>西保育園 父母の会会長</p>	<p>用具を組み合わせいろいろな運動遊びを経験していく。移動式の鉄棒は鉄棒という使い方だけでなく、並行棒にして使用したりと工夫することで、全身を使って遊んだりしながら体の基礎を作っていく。秋になって芝生が生えそろった頃には、子ども達の体幹も鍛えられ、開放感あふれる芝生の上で、伸び伸びと遊んでいきたい。園庭には2つのでこぼこした山がある。そんな園庭で、どんな遊びが展開できるのか、子ども達も職員もとても楽しみにしている。職員みなで、西保育園の子どもたちが健やかに成長できるように見守り、手助けしていきたいと思っている。</p> <p>西保育園 父母の会の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを2回ぐらい開催予定 ・ バザーは中止をせざるを得ない。バザーがないことで子ども達への還元が減る。今までとは違った形になってくるが、これまでは父母の会（保護者）の負担が大きかったので、これを機会に会費の中でやりくりできたらいい。 ・ 子どもたちの思い出に残るようなイベントをこれから考えていく
<p>北保育園園長</p>	<p>北保育園（資料No.6-3）</p> <p>今年度は3歳未満児53名、3歳以上児130名、合計183名の子ども達と一緒に新生活をスタートした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発出のため4月1日（水）からわずか2週間ほどの登園で、その後約2か月近く登園自粛を余儀なくした。6月1日（月）からの通常保育受け入れでは、子ども達の様子がどうなのかとても心配したが、泣いたり嫌がる子は少なく、すんなり保育園生活に戻って来れており、4月のわずかな保育園生活が子ども達にとっては、とても大切な経験となっていたと感じている。</p> <p>また、今年の2月に「住民・企業・行政の連携による保育園づくり」と「木育の推進」ということから、「2020愛知環境賞 優秀賞」をタイム技研株式会社さまと大口町がいただいた。さらに、5月には県産木材を積極的に活用した建物や家具から選ぶ「あいち木づかい表彰 最優賞」を北保育園がいただくことができた。園児も職員も喜び、早速玄関に賞状、パネルなどの展示コーナーを作って飾った。</p> <p>体力作り（芝生園庭・回廊）</p> <p>新型コロナウイルスの感染の影響により、子ども達が安全に健康に生活していけることの大切さを痛感すると共に、「自分の命を守ること」「健康な体作り」への意識も高まっている。子ども達が病気に負けない体を作り元気</p>

に過ごしていけるよう、芝生園庭や広い回廊、保育室を使って体力作りに取り組んでいきたいと思っている。

現在、北保育園の芝生園庭は、冬枯れしていた芝生が青々と生え、桜の葉と共に新緑が心地よい園庭となっている。

北保育園園庭の特徴、良い所

- ・芝生がクッション代わりとなり、転んでも怪我をすることが少ない。
- ・裸足で遊んだり、寝転がったりすることもでき、体全体で自然の心地良さを感じることができる。
- ・固定遊具はないが、子ども達は園庭、桜の木、ビオトープなどいろいろな場所で、自分たちで遊びを見つけ、考えて遊んでおり、子ども達の主体性を育む遊びにつながっている。
- ・遊具を介しての遊びではなく、友達や保育士という人と関わる遊びが多く、人との関係が広がったり深まっている。

そんな素晴らしい園庭では、体を十分に動かし「全身運動をする」、走ったり跳んだりして「足腰を鍛える」ことを目標に今年度も計画を立て、取り組んでいる。

活動として

- ・緩やかな高低差がある広い園庭をかけっこ、リレー、鬼ごっこなどで伸び伸びと走り回る。
- ・かえる、うさぎ、くまなどになりいろいろな歩き方をし、いろいろな体の部位を使う。
- ・ストレッチ体操でいろんな動きを経験する。
- ・移動式鉄棒、平均台、トンネル、縄跳び、フープ、ドッジボール、サッカー、など運動用具を使って遊ぶ。

固定遊具がなくて心配される手や腕を使うこと、柔軟性、バランス、瞬発性などは、広い回廊や室内を使って工夫し取り組んでいく。また、園外散歩で余野2号、3号公園などに出かけ、ブランコ、滑り台、雲梯などで揺らしやよじ登る経験もしながら、子ども達の体力、筋力増進を図っていきたいと思っている。

体を動かすことだけでなく、「食事・衛生・体を休める」という「健康な体作り」も子ども達と一緒に考え、行っていきたいと思っている。

地域交流

北保育園ふれあい交流会や地域の方との交流を通して、子ども達の人を思いやる優しい心や人に親しむ心などが育つことをねらいとして行っている。

	<p>更には保護者・地域・保育園とが一緒になって子どもを育てていく「子どもを真ん中においたまちづくり」を目指している。</p> <p>活動として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年は4月、5月に地域の方のハーブ畑でカモミール摘みをしたり、10月にカモミールの種まきをする。また、いちご畑でいちご摘みをし、給食やおやつでいちごをいただいていた。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響でカモミール摘みやいちご狩り、また食べることができずに残念だった。 ・北保育園ふれあい交流会の方と職員が一緒になり、木造園舎を大切にしているために床、腰板、柱の油拭きをしている。また、芝生園庭を大切にしているために、芝刈りや草抜きを行っている。 ・園児との交流を更に深めていくために、行事などに招待したり園児とのふれあい遊びも考えてる。 ・北保育園に関わりのある郷土「小口城」や「織田街道」について子ども達と一緒に学び、園児の見守りをしてもらいながら現地に出かけ、共に町の歴史を知っていけるようにする。 ・活動や園児との交流の様子を保護者に発信する。 <p>いろいろなことを考えてはいるが、新型コロナウイルス感染発生状況に応じ、変更になったり中止になったりする場合があるかもしれない。その都度、子ども達と地域、保護者、保育園がつながっていける方法を考えていきたいと思っている。</p>
<p>北保育園 父母の会会長</p>	<p>北保育園 父母の会の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番制でいちご畑や夏野菜の世話の手伝いをしている。 ・イベントを2～3回程度考えていたが、コロナの関係で白紙の状態。これから小規模なイベントでも園と相談してやっていきたい。
<p>大口中保育園 園長</p>	<p>大口中保育園 (資料 No. 6—4)</p> <p>宝光福祉会大口中保育園は令和2年度6月1日現在、年長児2クラス35名、年中児2クラス42名、年少児2クラス39名、3歳未満児は0歳児は1名、1歳児16名、2才児22名の合計151名のお子さんをお預かりしている。</p> <p>職員は、調理員を含め計36名。</p> <p>まもなく園生活も3か月を過ぎようとしている。6月から通常保育になり、登園してくる子どもが増えてきた。その中で子ども同士の関りも増え、毎日楽し</p>

く過ごす様子が伺える。

「遊びの中からの学び」を保育の柱として、一人一人の主体性を大切にする保育を行っている。主体性とは、目的を果たすために何をすべきか考えながら、自分の意志で行動を決定できる性質・人のことを言う。子ども達が主体的に取り組むときには必ず「楽しさ」がセットになっている。子どもたちが自分からやりたいことを見つけ、意欲的に取り組むことができるように保育室や園庭にでも色々なコーナーを設置し、自分で活動を選べるように工夫している。時間で区切ることを優先させず、子ども達が遊びに集中する経験や、最後までやり遂げる満足感や達成感を大切にしたいと考え、このような取り組みを始めた。

<室内の環境>

- ・ままごとやごっこ遊びができる場、描いたり作ったりする制作の場、ブロック・積み木など構成遊びのできる場、絵本や図鑑が読める場、自然物と関わる場など用意している。

<戸外遊び>

- ・衝撃吸収人工芝が敷いてあるエリアは、総合遊具、雲梯や鉄棒などを設置している。園庭には、色水遊び、木の実であそべる場所、砂場の他に、ダイナミックな遊びを展開できる場としてどろんこ遊び専用の場を設けた。
- ・テントを設置し日陰をつくり、絵本や図鑑を置いてみたり、読み聞かせを行ったりするなど、今までの室内遊びが戸外での過ごし方変わった。
- ・各コーナーを異年齢児で遊ぶことによって、子ども同士の自ら育ちあう力を十分に生かし、他者とのコミュニケーションできる力も育てていきたいと、今年度も異年齢児での活動を取り入れている。
- ・大口中保育園の周辺には、五条川遊歩道、小口城址公園・多世代が集う憩い広場など、近くに自然が豊富にあります。園では主に、午前中の晴れた日には、0歳児から全園児積極的に散歩に出かけ自然に触れたり、戸外遊びを楽しんでいる。
- ・特色において、特に力を入れて取り組んでいる活動は、体力づくりである。安田式の可動式遊具を使い、雲梯・鉄棒・平均台を組み合わせ、毎朝10分間サーキット遊びに取り組んでいる。運動遊びの時は、マスクを着用していないが、昨年のように心拍の上がる動きは避けたり、密集しないように様々な遊びが取り組めるよう場所を確保するなど工夫しながら行っている。その他、総合遊具や竹馬・大縄跳び等いろいろな遊びや、五条川の遊歩道の散歩などで、全身を使い体の発達を促している。
- ・体操教室では、専門指導員による体操・運動遊び・サッカー教室・プール指導の他、日常の保育の中でも年間を通して体力づくりを意識した活動に取

<p>大口中保育園 父母の会会長</p> <p>保育長</p> <p>健康福祉部長</p>	<p>り組んでいる。</p> <p><食事について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に必要な基本的な習慣や態度を身に着け、楽しい雰囲気の中、色々な食材や料理に触れ、感謝の気持ちをもって味わいます。畑で収穫した野菜等を使ってクッキングをしたり、行事食から文化を感じ取ったりします。和菓子作りにも挑戦し、日本の文化に触れるきっかけにしたいと年長・年中児を対象に取り組んでいる。 ・給食の配膳方法に「セミバイキング」形式を取り入れている。これは、一人一人が自分の食べる量を「いっぱい」「ふつう」「少な目」と伝えます。配膳する保育士とのやり取りを楽しみながら、自分の食べれる量を考え調節していくことで空腹感を満たす量を知ったり、完食する心地よさを体感していくことができるように心がけている。 ・地域の方との交流では、「城址の友」の方々と季節の野菜栽培・各年次の収穫野菜を使ったクッキング・季節のおやつクッキングを経験し、季節行事での交流を予定している。 <p><ホームページについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを全面リニューアルした。 <p>今回のリニューアルでは、保護者の皆さまに保育園の思いや取り組み等、情報をわかりやすく伝えることができるホームページになるようデザインや構成を改善した。家庭との連携を大切に、一緒に子育てをしていきたい。</p> <p>日々、新型コロナウイルスの感染が拡大している。保育園でも子供たちをウイルスから守るため、様々な対応を行い、安全確保に努めていく。</p> <p>中保育園 父母の会の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを計画していたが、進んでいかない。 ・会費の範囲内で園児に還元できればと考えている <p>6 その他</p> <p>西保育園の平面図と写真を添付したのでみてほしい。</p> <p>閉会の挨拶</p>
---	--